



公立大学法人 和歌山県立医科大学

学部案内 2023

- 保健看護学部
- 大学院保健看護学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- 助産学専攻科



大学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療、保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

1804年、医聖華岡青洲が、曼陀羅華を主成分とする麻酔薬「通仙散」を完成させ、乳がん摘出手術を成功させました。



新しいことに挑戦する心を常に持ち、既存の知識や技術を発展させることができる医療人を目指しませんか。

沿革

- 平成8年4月 和歌山県立医科大学看護短期大学部開学
- 平成16年4月 保健看護学部開設
- 平成19年3月 看護短期大学部閉学
- 平成20年4月 大学院保健看護学研究科修士課程及び助産学専攻科開設
- 平成25年4月 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
- 平成26年4月 大学院保健看護学研究科がん看護専門看護師コース開設

contents

大学の教育理念・沿革	1	大学院保健看護学研究科教育プログラム	18
学長・学部長メッセージ	2	大学院生メッセージ	20
保健看護学部教育プログラム	3	助産学専攻科教育プログラム	21
キャンパスカレンダー	12	助産学専攻科修了生メッセージ	23
キャンパスライフ	13	学生サポート	24
クラブ紹介	15	取得できる学位・資格	25
社会で活躍する卒業生	17	三葛キャンスマップ	26



医療系総合大学で看護の未来を学ぼう

本学の保健看護学部は、平成16年4月に医学部に次ぐ2つ目の学部として誕生しました。令和3年4月には3つ目の学部として薬学部が開設され、本学は、医・看・薬の3学部を擁する医療系総合大学となりました。3学部相互の連携を図りながら、より良質な教育を展開していきたいと思えます。

全国で300近い4年制看護系大学の中で、本学の「保健看護学」を冠した学部はごく少数です。これには、看護の未来への期待として、医療の現場での質の高い看護はもちろんのこと、広く地域の中で疾病予防や健康支援に資する看護という意味を込めて「保健看護」なる名称がつけられています。

全国看護系大学共通の学士教育標準である「看護教育モデル・コア・カリキュラム」(平成29年公表)において、「地域医療構想に基づく医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築により、地域におけるヘルスプロモーションや予防も含め、その役割や活動場所の多様化が進む中で、看護者には、様々な場面で人々の身体状況を観察・判断し、状況に応じた適切な対応ができる看護実践能力が求められている」と、私たちの学部が開学時の精神に込めた同様の趣意が述べられています。

平成20年には、助産学専攻科及び保健看護学研究科修士課程が、平成25年には博士課程が設置され、教育内容の充実とより専門性の高い教育の実践に基づく高度医療人育成が展開されています。

医・看・薬の3学部合同でのケアマインド教育等を通じてチーム医療の一員としての看護に求められる豊かなところを涵養し、医療系総合大学ならではの充実した教育環境のもとで看護の未来を本学保健看護学部でぜひ一緒に学びましょう。



和歌山県立医科大学
学 長 宮 下 和 久

輝く保健看護職へのマイルストーン

保健看護職への道程は、保健看護の基礎教育から始まります。

保健看護学部は、人々の生活に焦点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようになっています。生活に焦点を当てるということは、人々の生活の質をいかに高めるかに大きな価値を置いています。生活習慣病が増えている状況では、人々が病気や障害をもちながらも、いかに有意義な生活を送るかが重視されてきています。保健看護職は、健康の大切さを自覚し健康的な行動をするように保健指導をしますが、その際は、全人的な理解が要諦です。このために、保健看護学部は教養・基礎教育も充実しています。

保健看護学部は、1996年に開学した看護短期大学部を前身として、2004年に開学しました。以来、人間の理解を深め、人々の健康を支援するための基礎を教育し、問題解決能力、判断力、研究能力を高める専門的な教育も行い、数多くの保健看護職者を輩出してきました。その多くは、関西地域を中心に、看護師として病院で、あるいは保健師として都道府県や市町村、企業で活躍しています。また、養護教諭として学校で子ども達の健康管理に努めている方もいます。

保健看護職者の更なる展開として、高度臨床実践者、教育者、研究者があります。そこで、2008年に保健看護学研究科博士前期課程(修士課程)と助産学専攻科を開設し、2013年に博士後期課程(博士課程)を開設、また、2014年には博士前期課程の中にがん看護専門看護師コースを開設し、開学から10年間で保健看護職者への道程を確立してきました。

輝ける保健看護職者への最初のマイルストーン(中間目標地点)として、保健看護学部において学生一人ひとりが充実した学生生活を送る中で、豊かな人間性と主体性を育み、協調性に富む保健看護職者を育てていきたいと思えます。



保健看護学部
学部長 森 岡 郁 晴



教育理念

豊かな人間性、高邁な倫理観を育み、先進的、高度な専門的知識と技術を教授し、科学・技術の進展と、健康・福祉に関する社会の要請に柔軟かつ創造的に対応でき、保健看護の実践、教育、研究など広い分野での活躍が期待できる資質の高い人材を育成します。

教育目標

生命の尊厳と 幅広い教養を基盤にした 豊かな人間性と 高邁な倫理観の涵養

人を慈しみ、生命を愛し、人々の健康と幸せを支援することができるよう、基礎的知識・技術を学び、豊かな人間性と教養を兼ね備えた資質の高い人材を育てます。

種々の関連職種と チームワークができる 協調性に富む人材の育成

保健、医療、福祉の総合的な視野を持ち、種々の関連分野の人々と連携・協力して、全体を調整、管理できる能力を育てます。

個人を尊重し、 全人的理解と信頼関係を築く、 優れたコミュニケーション 能力の育成

住民とのふれあいを重視し、社会で生活する人間の理解を深め、人に学びながら、多様な情報を捉え、適切な判断ができる能力を育てます。

生涯にわたり自己啓発し、 社会の多様なニーズに 対応できる人材の育成

4年間の一貫教育の中で、自主性・主体性を育み、多様化する社会のニーズに柔軟に対応でき、新しい看護を切り拓いていける人材を育てます。



科学的思考力、 高度な専門的知識と 技術に基づいた実践力と 創造力の育成

医療の高度化、専門化に対応できる洞察力、判断力、実践力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手となる人材を育てます。



アドミッションポリシー (入学受入方針)

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人
- 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

カリキュラムポリシー (教育課程方針)

- 社会人として必要な教養とともに、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型学習による教育
- 保健看護に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育
- 保健看護の基盤となる領域において、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決型能力と看護方法および研究的思考を育成できる教育
- 保健看護の専門となる領域では、習得した看護の基礎を実際に活用・実践する技能を修得できる教育
- 臨地実習では、全ての領域を実習するとともに学内外で実習を行い、看護実践能力を含めた保健看護の力を獲得できる教育
- 地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる人材を育成できる教育



ディプロマポリシー (学位授与方針)

- 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる
- 看護の対象となる人々と信頼関係に基づくコミュニケーションや援助関係を築くことができる
- 看護の対象となる人を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにできる
- 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、これらを活用して健康課題の解決に取り組むことができる
- 保健医療福祉チームの一員として看護職間・他職種間・地域住民等との協働・連携を図るために主体的に行動できる
- 社会の動向とともに、地域的・国際的視野で多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けた創意・工夫ができる
- 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている



カリキュラムの特徴

充実した教養、基礎教育

保健看護職には、全人的な人間の理解に基づいた人への思いやりや優しさが必要です。「教養と人間学の領域」では、学習意欲にあふれ、倫理的で思いやりのある人材を育て、豊かな人間性及び優れたコミュニケーション能力の育成を目的としています。個々の学生の様々な関心に対応できるように、選択履修科目を多数取り入れています。

人間理解を深め、人々の健康を 支援するための基盤を形成

「保健看護学の基盤となる領域」では、保健看護学の土台となる「人間と生命倫理」「保健と福祉」「健康と病態」を学び、保健看護専門職の基盤を形成することを目的としています。

問題解決能力、判断力、研究 能力を育てる専門教育

人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応できるように、洞察力、問題解決能力、判断力などを身につけることを目的としています。授業は、講義だけでなく、演習や実験、実習等を取り入れ、少人数による学習を積極的に取り入れ、体験的・自主的に学習できるように工夫しています。

保健・医療・福祉の包括的学習

人々の生活に視点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようにしています。実習では、暮らしを通じて学習できるように、病院のみでなく、保健センター、訪問看護ステーション、助産院、保育所、企業、介護老人保健施設などで実習できるようにしています。

医療入門（ケア・マインド教育） 1年次



医学部、薬学部の学生とともに患者・家族の立場から物事を考えられる視点を養います

基礎看護実習Ⅰ 1年次



対象者が安全・安楽に診療を受けられるように、基礎的知識・技術を学びます

教養セミナー 1年次



写真やキーワードから連想を広げ、自ら問題を発見し、情報収集と思考鍛錬を行う少人数ゼミです



授業科目

「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域で構成され、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な学習ができるようにしています。

和歌山県立医科大学保健看護学部カリキュラム

分野	1年次	2年次	3年次	4年次	
保健看護学の専門となる領域	総合保健看護 国際交流活動(演習) 地域交流活動(演習) } (1~4年次の選択科目)	災害看護論	保健看護研究 I 保健看護管理論 保健看護研究 II 保健看護管理演習	保健看護管理演習 国際保健論 保健看護英語 看護教育論	
	臨地実習 緑字は選択科目 ★マークは保健師コース必修 ☆マークは看護師充実コース必修 → は蓄積を示す	基礎看護実習 I	基礎看護実習 II 統合実習 I	公衆衛生看護実習 I・II★ 保健看護実習A(母性) 保健看護実習B(小児) 保健看護実習C(老年) 保健看護実習D(精神) 慢性期看護実習 急性期看護実習 在宅看護実習	統合実習 II
	健康障害と保健看護	慢性期看護論 I 急性期看護論 I リハビリテーション看護論 子どもと健康 I メンタルヘルス学 I	慢性期看護論 II 急性期看護論 II 終末期看護論 子どもと健康 II 高齢者と健康 メンタルヘルス学 II	リエゾン精神看護学	
	ライフステージと保健看護	ライフステージと看護 I (母性) ライフステージと看護 II (小児) ライフステージと看護 III (成人) ライフステージと看護 IV (老年)	性と生殖 II	学齢期の保健 女性と健康	保健医療経済論★
	生活と保健看護	生活の場と看護 I 看護方法論 I (生活援助) ヘルスアセスメント 看護活動論 人間理解と看護	公衆衛生看護活動論 I 公衆衛生看護方法論 I 生活の場と看護 II 家族と看護	公衆衛生看護活動論 II★ 公衆衛生看護方法論 II★ 在宅看護論	保健医療経済論★
	基礎看護	保健看護学入門 早期体験学習	看護方法論 II (看護過程) 看護方法論 III (医療技術)	看護方法論 IV (癒しと看護)	保健医療経済論★
保健看護学の基盤となる領域	人間と生命倫理 発達心理学	人間関係論 生命倫理	疫学	医療哲学 精神療法(心理療法)	
	保健と福祉	保健統計学 公衆衛生学 産業保健論 環境保健論★ 社会福祉概論 社会福祉活動論 リハビリテーション	疫学	保健行政論	
	健康と病態 基礎病態学 健康科学 身体の構造と機能	慢性期病態学 I 慢性期病態学 II (小児) 急性期病態学 性と生殖 I 基礎薬理学 救急医療(災害医療含む) 病態栄養学 運動健康学	総合病態学 終末期医療 健康教育論★ 臨床薬理学★	保健医療経済論★	
教養と人間学の領域	教養セミナー コミュニケーション	教養セミナー 英語 I 英会話 情報処理演習 ケアマインド教育 中国語 情報科学 感性と芸術	英語 III 英語 II	英語 IV 医療コミュニケーション	
	人間の理解	こころの科学 人と倫理 文学 人間と文化			
	社会の理解	現代の家族問題 生活の科学と健康 経済学 法学(日本国憲法)	(1~4年次の選択科目)		
	科学の理解	保健看護の物理学 保健看護の生物学 生命と遺伝 食の科学 食の科学演習 保健・スポーツ 運動の科学			

地域の人々との交流から 暮らしと健康との関連を学びます

早期体験学習 1年次



入学後の早期に、地域に出向いて、そこで生活している人々との関わりや様々な体験を通して、暮らしと環境について理解し健康との関連について学びます

統合実習Ⅰ 2年次



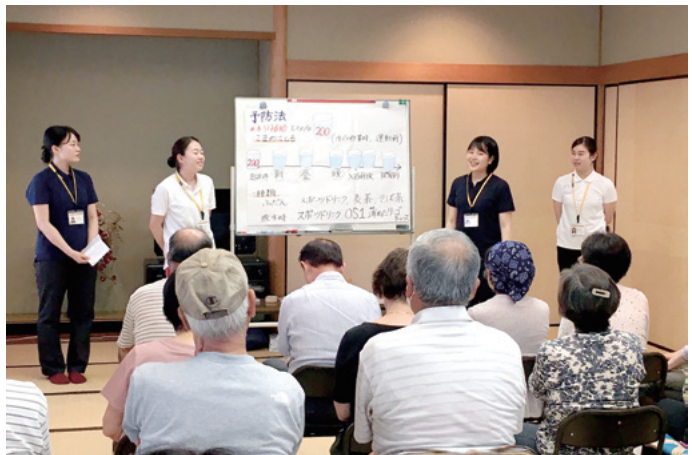
地域で暮らす様々な発達段階にある人々の健康・生活を知り、健康・生活を守るための支援のあり方について学びます

【実習施設】

- ・保健所、市町村・保健センター
- ・子育て支援施設
- ・こども園・保育園
- ・小学校
- ・企業 等

公衆衛生看護実習 3～4年次

(保健師コース選択生のみ)



保健師コースは、和歌山県内の保健所、市町村保健センターに出向いて、住民の生活や環境から健康問題を捉え、それを解決するための方法を考え、実践します。地域を歩いて回ったり、家庭訪問をしたりするので、保健師活動を実践的に学べる楽しさを実感できます。学生たちで考えた健康講座は住民のみなさんに大変喜ばれ、とてもやりがいがあります。

コース選択を希望する学生が多いと、成績で選抜されるのですが、地域の視点を深く学ぶために、ぜひチャレンジしてほしいと思います。



保健看護実習A (母性)



新生児と母親の命を守ります

保健看護実習B (小児)



子どもの成長・発達を支えます

保健看護実習C (老年)



人生の先輩から生き方を学びます

看護を通して、人として成長します

保健看護実習D (精神)



自己を知る事が心の看護の基本です

慢性期看護実習



療養生活を支える看護を学びます

急性期看護実習



術衣を着ると緊張感が走ります

在宅看護実習



自宅での療養を支えます

統合実習Ⅱ



自ら計画を立て、実施した実習の成果を発表します

**和歌山県立医科大学附属病院を中心に
和歌山県内の医療・保健・福祉施設で学ぶ**



和歌山県立医科大学附属病院には、医学・保健看護学・薬学を学ぶ学生が医療を体験・習得する医療教育機関としての性格と、高度な医療技術と優秀な医療スタッフによる優れた医療を地域社会に提供する中核的な医療機関としての役割があります。現代の高度な医療の進歩は目覚ましく、新しい医療の吸収と展開は、教育・研究を柱とする大学機関に附属する医療機関によってこそ可能です。常に優秀な人材の確保と医療システムの最適化を図り、広く地域社会に医療の還元を図ることが附属病院の使命です。

その他、和歌山県内の各施設が実習をサポート！

- ・和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- ・和歌山ろうさい病院
- ・ひだか病院
- ・南和歌山医療センター
- ・白浜はまゆう病院
- ・和歌山県立こころの医療センター
- ・和歌山県内の訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター
- ・児童福祉施設、老人福祉施設、障害者福祉施設、企業 等

交流し、人間性を高め、異文化や多世代と

地域交流活動

地域の特性から住民の生活状態や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを捉えます。ボランティア活動や本学独自の助成制度「学生自主カリキュラム」などの自主的な活動を通して、チームワークや行動力を養います。

大学が認定する地域交流活動に参加するとポイントが加算され、通算20ポイントを得た場合に単位を認定しています。

学生自主カリキュラム

学生が自らの自由な発想と意思で学びたい活動を計画し、生きた知識を獲得し、さらに学びを深めていくことを目的とした学習支援プログラムです。

○地域の高齢者に対するアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及と啓発

私たちは、紀美野町長谷毛原地区の高齢者を対象に、アドバンス・ケア・プランニングをテーマに健康教育を行いました。紀美野町役場の保健師、地元診療所の医師や看護師、地域サロンの協力を得て、これまでの人生を振り返り、これからの生活や医療への希望を話し合いました。住民の皆様の思いに触れ、病いや老いとともに生きる人を支える看護のあり方を学ぶとともに、チーム医療に必要なコミュニケーションスキルや、学習する姿勢、リーダーシップなど多くを学ぶことができました。今後、病院や市町村で働く際、多職種連携によってよりよい活動ができるよう、今回の経験や学びを活かしていきたいです。



卒業生：尾中杏樺さん、新谷菜々さん、玉井大華さん、土山唯さん

○和歌山県の神社仏閣を巡り、産育儀礼を知る

産育儀礼とは、①安産祈願②初宮参り③七五三のことを言います。

私たちは、「和歌山県 安産祈願」と検索して挙がった神社を実際に訪問したほか、神主さん・住職さんへの対面・紙面でのインタビューの実施、通過儀礼や神社の歴史などの文献を用い、神社仏閣で行われる理由や、古来から医療がすすんでいる現在においても、妊産婦・子育て中の親だけでなくお産に関わる職種の人が神社仏閣に参拝する理由を研究しました。今回は日本の産育儀礼について焦点を当てて研究を行いましたが、将来私たちが働くうえで関わるのは日本人だけではないため、世界ではどのような習慣があるのかも興味が湧きました。普段とは違った角度から神社仏閣を訪問し、母子保健の座学では触れることの少ない部分を学ぶことができました。

卒業生：井戸涼葉さん、佐藤理子さん、中野紗彩さん、古川千葉美さん

令和元年度学生自主カリキュラムのテーマ

- ・ 沖縄の離島における医療の現状と看護職の役割を学ぶ
- ・ 助産師になりたい私たちの夢と覚悟を形成する
～エネルギーな開業助産師に学ぶ～
- ・ 和歌山県のへき地医療について知る
- ・ 和歌山県のへき地における保健師と住民とのかかわり
- ・ 看護系大学生の学年別にみたペットボトルの汚染意識の状況
- ・ 和歌山県各市町村における飲食店の禁煙状況と地域特性との関連
- ・ 重度精神障害を持つ人への地域生活継続支援のあり方と看護師の役割



看護学生フォーラム

看護学生フォーラムは、和歌山県内で9校の看護学校の学生が集まり、学習と交流を目的として年に1回開催されており、看護学生フォーラム委員が主体となり、企画や運営を行っています。今年度は、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、12月にオンラインで開催しました。フォーラムに向けてリモートで会議を重ね、各校と協力し、運営に励みました。第19回のテーマは、「災害医療：～深めよう私たちの絆、楽しみながら高めよう災害時の対応力～」としました。前半は、看護学生でもできる災害時の対応について、日本赤十字社和歌山医療センターの中 大輔先生に講義をしていただきました。自分たち看護学生でも医療従事者と連携して災害時の力になれることに気づくことができました。

後半は、学校ごとに3つのグループに分かれ、様々な形式で出題される医療クイズにメンバーと協力して答えを導き出しました。グループ単位で正解数を競い、各々が日々の学習の成果を発揮することができました。

この活動を通して、新たな試みに挑戦する姿勢や連携の大切さを学びました。また、参加者をまとめ各校の委員と同じ考えのもとに行動する難しさや、自分の考えを相手に伝える難しさも学ぶことができました。オンラインでの会議や運営は大変だと感じることもありましたが、学びも多く成長することができたので、委員としてこのフォーラムに携わることができてよかったと思います。

令和4年度看護学生フォーラム委員：廣畑真冬花さん、赤松瑞葵さん、阿部朱里さん、井田有美さん、石井里奈さん、太田歩花さん



国際交流活動



教育・研究両面で活発な交流

<主な協定状況>

昭和61年 山東大学（中国） 学術交流

平成16年 山東大学（中国） 学生交流

平成18年 本学に国際交流センターを設置

マヒドン大学（タイ） 学術交流・学生交流

平成19年 香港中文大学 学術交流・学生交流

平成25年 プラバ大学（タイ） 学術交流・学生交流

平成28年 ヤンゴン看護大学（ミャンマー） 学術交流

☆山東大学（中国）と香港中文大学とは協定を締結して以来、両大学の学生が相互に訪問し、積極的に交流しています。

アメリカ糖尿病キャンプには毎年4名の学生を派遣しています。

アメリカ糖尿病キャンプでの研修に参加して

日本の生活とは異なった文化で生きる人々と関わることで、目の前の人を理解する姿勢や自分の固定観念にとらわれないことの大切さなどを学びました。また、日本とアメリカにおける医療の違いや最先端の糖尿病治療、子どもたちがどのように病気と向き合い、生活を送っているのかなど、学校では学ぶことができない貴重な体験をさせていただき、参加してよかったと心から思います。

本学では自分の学びたいことを先生方のサポートのもと柔軟に取り組むことができます。みなさんも本学での学生生活で様々なことにチャレンジしてみてください。

卒業生：井上ゆなさん 岩根朱里さん



香港中文大学学生茶道体験

地域社会に貢献できる人材を育成します

保健看護研究Ⅱ（3年次後期～4年次）

日常や看護の素朴な疑問や関心を研究課題とします。観察力と着想、その課題に最もふさわしい研究手法の選択、研究計画書の作成、実施など、研究のプロセスを学びます。

さらに、1年かけて取り組んだ研究の成果を学内で発表します。国内外の学会で発表し、論文を学術雑誌に投稿することも大切です。研究成果を世に公表して、看護学の発展につながるような価値ある研究を進めていきます。



岩根ゼミ
レポート

岩根ゼミでは、手洗いの効果を研究しています。手を温めることが私たちの身体にどのような影響があるかを調べています。実験環境を整えることが難しく大変ですが、自分たちの研究が看護に役立つ可能性があるため、とてもやりがいがあります。

先生方の専門領域はそれぞれ異なり、自分の興味や関心のある先生のもとで、ゼミ研究を行います。

3～4人のグループで、自らテーマを選定し、疑問に思ったことや理解を深めたいことを探求していきます。



大学運営に学生が積極的に参画

学生たちの若い力と柔軟なアイデアで、様々な課題を解決していくことができると期待しています。今後、大学の運営に学生が参画できる機会を増やし、よりよい大学を目指すとともに、地域社会のリーダーとして貢献できる人材を育成します。

学生自治会活動

自治会では活動を通し、在校生や新入生がより充実した学生生活を送ることができるように学生主体で取り組んでいます。

例年、新入生に向けたウェルカムパーティーや卒業生・退職される先生方へのプレゼントを用意したり、大学祭などにも携わっています。しかし、過去3年間は新型コロナウイルスの影響により様々なイベントの中止や規模の縮小化をせざるを得ない状況となっていました。コロナ禍の状況の中でも数少ない活動ではありましたが、一生懸命取り組むことができました。

令和5年度からは活動制限も緩和され、活動範囲も広がると思います。試行錯誤の中ではありますが、従来のような活動ができることを願っています。

令和4年度保健看護学部学生自治会長：福田祐衣さん



4月 入学式・オリエンテーション
前期授業開始
健康診断

早期体験学習
(1年生)



5月 保健看護実習A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
公衆衛生看護実習Ⅱ
(4年生)

6月

7月 前期試験
(2・3年生)
オープンキャンパス



8月 夏期休業

9月 授業再開
前期試験
(1・4年生)

基礎看護実習Ⅱ
統合実習Ⅰ
(2年生)
統合実習Ⅱ
(4年生)

10月 後期授業開始
大学祭

保健看護実習A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
在宅看護実習
(3年生)



11月

12月 保健看護研究Ⅱ発表会
(4年生)
冬期休業

基礎看護実習Ⅰ
(1年生)
公衆衛生看護実習Ⅰ
(3年生保健師コース)

1月 授業再開
総合評価試験
(4年生)

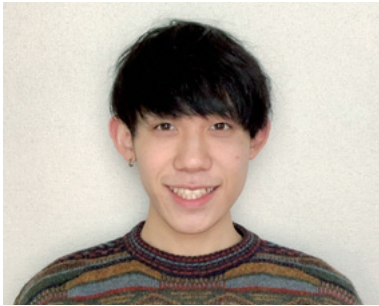


2月 後期試験
看護師・保健師国家試験
開学記念日(2月20日)

3月 卒業式
春期休業

共に高め合える仲間と共に看護観を磨く

後藤 兼誠 さん (2年生)



・志望動機

生まれ育った和歌山の大学で、地域に根ざした看護を学びたいと思い受験しました。特定機能病院である附属病院で実習できることや、保健師の資格を取得できることも魅力的だと思いました。

・印象に残っている授業

[ケアマインド教育]

ケアマインド教育は一年次に行う医・薬・看合同の授業です。去年はオンラインで医療従事者や実際の患者さんの講義を聞き、三学部の学生と話し合うことで学びを深めました。さらに、まとめたことをオンライン上でグループごとに発表しました。一年次から患者・家族の立場から考えられる視点を養うことができたため、初めての病院実習でも役立ったと思います。医学部と薬学部の学生の考え方を知ることができ、いい交流の場にもなったので印象に残っています。

・実習について

一月に附属病院で基礎看護実習Ⅰを行いました。はじめて看護学生として病棟に行き、患者さんと関わりました。これまで学んだ知識と技術を実践に用いることで、さらに学びを深めることができたと思います。慣れないN95マスクやゴーグルを着用しなければいけなかったり、毎日の事前学習や実習記録があったりと、実習期間中は大変でしたが、それ以上に多くの学びを得ることができました。看護師になりたいという気持ちがより一層強くなった実習でした。また、担当の先生が親身になって支えてくださることや、グループのメンバーと励まし合うことが心の支えになっていたため、仲間の大切さに改めて気づきました。

・部活について

僕はダンス部の「INTACT」に入っています。僕はダンスが未経験でしたが、毎週楽しく踊ってます。週一回の活動なので勉強やアルバイトとの両立もしやすいです。ダンスのイベントでは他大学の学生など様々な人と交流を持つことができ、とても楽しかったです。部活動を通して他学部の学生や先輩とも仲良くなることができました。

畑 優月 さん (3年生)



・志望動機

生まれ育った和歌山で地域に寄り添った助産師になるための第一歩として、助産学専攻科が設置されている本学を受験しました。病院だけでなく助産院や保育所、その他地域のあらゆる施設で実習できる場所に魅力を感じました。

・授業

コロナ禍ではありましたが、大学と学生がそれぞれにできる感染対策を行いながら、ほとんどの授業を対面で行うことができました。授業ではペアワークやグループワークの機会が多くあるため1つの事例や課題に対してさまざまな視点から考えるよい機会となります。かつ、多くの人と話す機会ともなるため看護師に必要なコミュニケーション能力の向上にもつながり、ただ座って一方的に講義を聴くのではなく、少し息抜きをしながらメリハリをつけて勉学に励むことができます。

・演習や実習

演習・実習どちらも少人数のグループで行われます。そのため、分からないことや疑問を先生に相談しやすく、指導も優しく丁寧です。演習では事前に課題や自己学習に取り組み、その中で疑問に思ったことを先生やベアの学生とともに、演習に取り組む中で解決していきます。また、必ず授業の最後にはカンファレンスを行うため、その日の学びを振り返ることができ、自分では気づかなかったところの発見にもなり確実に自分の学びとすることができます。また、コロナ禍により私たちの学年は1年生の時に臨地実習を行うことができませんでしたが、それにより他学年と学びの差が生じないようにと、2年生の臨地実習では先生方が附属病院と協力して2年分の学びができるよう特別カリキュラムを組んでくれました。実習では今まで学んできた知識や技術を実践するということもあり、緊張や不安も大きいですが少人数のグループで行うため、グループメンバーと協力しながらお互いの体験をグループ内で共有し共に乗り越えることができます。

・保健看護学部の魅力

1年次では医学部、薬学部との共同講義があり、将来現場に出た時に大切になる連携力やチーム医療に関する内容について、ディスカッションや成果発表を通じて学ぶことができます。また、看護師資格をもつ人だけではなく保健師、助産師、医師、薬剤師その他専門看護師などさまざまな医療に関する職種の人から多くの専門的な学びを得ることもできます。附属病院を持っているからこそ上記のように社会の状況やそれぞれの学年に合った実習形態をとってくれるところも大きな魅力です。

勝浦 向日葵 さん(4年生)



・志望動機

私は和歌山県で生まれ育ちました。幼い頃から看護師を志し、将来は和歌山県で看護師として働き、地元である和歌山県の医療に貢献したいという思いがあったため、この大学を選びました。

・臨地実習について

主な実習施設は和歌山県立医科大学附属病院で、3年生の9月から4年生の7月まで、1グループ8名程度に分かれて、成人、老年、精神、小児、母性、在宅といった領域ごとに2~3週間ずつローテーションして、さまざまな病棟で実習をします。

実習では1人の患者さんを担当させていただきます。そして、看護師さんや担当教員から日々のサポートや助言をいただきながら看護を行います。患者さんとお話させていただく中で把握した生活背景やニーズを基にして、担当患者さんには何が必要なのか、自分には何ができるのかといった視点で考えます。実習での実践を通し、患者さん一人ひとりに合わせた看護が大切であることを学ぶことができました。

実習では毎日、学生間で「カンファレンス」を行います。担当患者さんへのより良い看護について、学生間で積極的に意見交換を行います。担当患者さんの看護の方向性について学生から意見をもらうことで気づけることもあり、看護師さんや担当教員も同席してその都度フィードバックをくださるため、医療はチームで行っていくのだということを改めて感じました。

日々の課題や学習量が多いことや慣れない環境である



ことから、実習は大変だと感じることもありますが、実習終了後には病棟での経験を通して多くの知識が身につく、看護への考えが深まっていることを実感することができます。

・タイムスケジュール (実習日)



・余暇の過ごし方

休日は趣味を楽しんだりして、オンとオフを切り替えるようにしています。コロナ禍の学生生活は感染予防行動の徹底や外出自粛といった制約も多く大変ですが、同じ状況で学ぶ友人たちとお互い励まし合いながら楽しく過ごしています。

・保健看護学部の魅力

県内唯一の特定機能病院である和歌山県立医科大学附属病院で実習を行うことができます。高度な先進医療を提供する医療現場の看護師さんに指導をいただけるため、質の高い看護を学ぶことができます。

また、1学年は80人程度と少人数であり、それぞれの学年に担任と副担任の先生がつき、入学から卒業まで継続してサポートしてくださります。先生方はとても親身になってくださり、学生生活での不安や悩み、就職先についても相談できます。このように、学生と教員の距離が近いことも魅力の1つだと思います。

・ゼミについて

教員1人に学生3~4人がついて研究を行います。自分たちが疑問に思ったり興味を持った分野について、主体的に研究テーマを決め、そのテーマについて教員の指導を受けながら調査・分析を行い、結論を見出していきます。研究では初めてのことが多く難しいと感じることもありますが、興味のある分野について追求し深く学ぶことに楽しさを感じます。



クラブ紹介

- 茶道部
- わくわく子育て部
- ミュージックボランティアクラブ
- 手話サークルmilk
- 軽音楽部
- 美術部
- 音楽研究会
- ESS部
- 予防医学サークル
- 演劇部
- Wakayama Will
(災害ボランティアサークル)
- アカペラ部
- 釣魚部
- 米国医学研究会×USMLE
- 裏千家茶道部
- 華道部
- 文芸部
- 手芸サークル
- クイズ研究会
- ダンスサークルINTACT
- 卓球部
- 柔道部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 合気道部
- 空手道部
- バスケットボール部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- ラグビー部
- フットサル部
- 水泳部
- 漕艇部
- 硬式庭球部
- 軟式庭球部
- ヨット部
- スキー・山岳部
- ゴルフ部
- 軟式野球部

一緒に泣いて笑える仲間を作ることができます。



剣道部



Wakayama Will (災害ボランティアサークル)



卓球部



手話サークル



ミュージックボランティアクラブ



ダンスサークルINTACT



バスケットボール部



合気道部

文武両道



空手道部

3学部合同の活動もあり
勉強の合間に楽しんでいます。



バレーボール部



漕艇部



軽音楽部

社会に羽ばたき自分らしさが花開きます

看護師 上田 尚輝さん
(令和2年度卒業生)



和歌山県立医科大学附属病院 勤務3年目

私は、現在耳鼻咽喉科・頭頸部外科と救急科の混合病棟で勤務しています。耳鼻科では、喉頭摘出による発声機能の喪失や眼球摘出による視機能の変化など手術によって入院前と身体機能が大きく変化する患者さんが入院しています。実際にそのような患者さんと接する中で、身体機能だけでなく、退院後の生活や社会的役割など様々な変化が生じるということを学びました。そうした変化を受容し、退院後もその人らしく生活していくためには患者さんにとって1番身近な存在である看護師の果たす役割は大きいと日々実感しています。大変なことも多いですが、その分やりがいもたくさん感じることができます。これからも患者さんに寄り添った看護を実践していきたいと思っています。

保健師 平野 悠紀子さん
(令和2年度卒業生)



和歌山県西牟婁振興局健康福祉部 (田辺保健所) 勤務3年目

大学では、予防医療に興味を持ち保健師コースを選択しました。勉強や実習は大変でしたが、近い距離で手厚く指導してくださる先生方や、楽しく励ましあえる友達の支えがあり乗り越えることができました。

現在は、田辺保健所で結核等感染症業務に携わっています。感染症は、見えないものに対する不安や偏見を持たれやすいため、人権を守りながらいかに次の感染を防ぐかが大切だと考えます。迅速かつ慎重な対応が求められる業務ですが、大学時代に仲間と共に培ったたくさんの知識や経験が保健師活動の中で生き、私の背中を押してくれています。

進路一覧表

		和歌山県内	和歌山県外
就職	看護師	和歌山県立医科大学附属病院 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 和歌山県立こころの医療センター 海南医療センター 紀南病院 公立那賀病院 国保野上厚生総合病院 国立病院機構和歌山病院 白浜はまゆう病院 日本赤十字社和歌山医療センター 橋本市民病院 南和歌山医療センター 和歌山ろうさい病院 など	大阪医科大学附属病院 大阪公立大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 大阪母子医療センター 北野病院 国立循環器病研究センター 堺市立総合医療センター 京都大学医学部附属病院 兵庫県立こども病院 東京大学医学部附属病院 聖路加国際病院 名古屋大学医学部附属病院 など
	保健師	和歌山県・県内市町村 一般社団法人NSメディカル・ヘルスケアサービス など	大阪府・大阪市・堺市・豊中市・貝塚市・泉佐野市・東大阪市・泉南市・田尻町・岬町・京都市・兵庫県・姫路市・奈良県 三菱樹脂株式会社 など
	養護教諭	和歌山県	大阪府
進学		和歌山県立医科大学助産学専攻科 和歌山県立医科大学大学院	神戸市看護大学大学院助産学実践コース 神戸大学大学院 など



保健看護学の未来を担う、高度臨床実践者・教育者・研究者を育成します。

学部での学びをさらに発展させます

教育課程	博士前期課程保健看護学専攻		博士後期課程 保健看護学専攻
	論文コース	がん看護専門看護師 コース	
教育理念	<p>広い視野と高邁な倫理観に立ち、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・介護・福祉に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野相互の連携の重要性が理解できる資質の高い保健看護職者と健康関連専門職者を育成する。</p> <p>また、本学保健看護学部の使命である「地域に根ざした保健看護学の考究」の推進者として、地域の人々の健康の保持増進、疾病・障害に伴う諸問題を含め、倫理的・科学的な研究に対する意欲をもち、自律して質の高い計画を立案・実行し、社会のニーズに柔軟かつ豊かに対処することができる健康づくりに関わる専門職業人として能力の向上をめざす。</p>		<p>広い視野と高邁な倫理観に立って、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・医療に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野における健康づくりに寄与できる教育・研究者を育成し、地域における人々の健康に貢献する。</p>
アドミッションポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学分野における専門性を高めるための研究に意欲をもつ人 保健看護学以外の領域で学んだ知識と技能を保健看護学の研究へ応用、発展しようとする人 本課程で学ぶ知識と技能を医療や医療以外の領域へ応用、発展しようとする人 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人 		<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人 保健看護学の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人 保健看護学への貢献を研究的視点にもつ人 保健看護学の専門職業人として、高度な専門知識の更新、リカレント教育に取り組もうとしている人
専攻領域	<input type="checkbox"/> 健康科学領域 <input type="checkbox"/> 基盤看護学領域 <input type="checkbox"/> 生活・地域保健学領域	<input type="checkbox"/> 基盤看護学領域がん看護学	<input type="checkbox"/> 生涯保健看護学領域 <input type="checkbox"/> 地域保健看護学領域
選抜方法	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人選抜	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人選抜	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 社会人選抜
入学試験	一般選抜、社会人選抜ともに英語、専門科目、面接を行う		
入学定員	12名		3名
修業年限 ^(*)	2年	3年 (長期履修制度利用)	3年
取得できる学位・資格	修士 (保健看護学)	修士 (保健看護学) がん看護専門看護師 認定審査受験資格	博士 (保健看護学)
学生支援	日本学生支援機構による奨学金制度 (社会人は申請することができません。)		

(*) 長期履修制度あり



博士前期課程

健康科学領域

身体的、精神的、社会的側面から「健康」をとらえ、関連する諸科学において学際的に探求する領域

専攻分野

- 健康増進学
- 運動器疼痛リサーチ & マネジメント学
- メンタルヘルス学
- 社会予防疫学
- 対人援助コミュニケーション学

基盤看護学領域

看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践者、研究者、教育者の育成を目指す領域

専攻分野

- 基礎看護学
- 高齢者看護学
- 慢性看護学
- 急性看護学
- がん看護学

生活・地域保健学領域

家庭、地域、職域等、人々の生活の場における健康づくりのプロフェッショナルを育成する領域専攻分野

専攻分野

- 母性保健学
- 小児保健学
- 地域看護学
- 在宅ケア看護学
- 環境保健学

授業科目

■ 共通科目 (必修)

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・保健看護学研究法
- ・英語文献講読
- ・保健看護情報統計学

論文コース

- ・特別研究

がん看護専門看護師コース (必修)

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント
- ・病態生理学・課題研究

■ 共通科目 (選択)

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・ヘルスケアエシックス・保健看護学概論
- ・健康マネジメント政策論・看護教育論・看護管理論
- ・看護理論・コンサルテーション論・健康測定評価論
- ・健康栄養学・家族看護学・医療と法

論文コース

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント・病態生理学

■ 健康科学領域

- ・健康増進学特論
- ・健康増進学演習
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学特論
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学演習
- ・メンタルヘルス学特論
- ・メンタルヘルス学演習
- ・社会予防疫学特論
- ・社会予防疫学演習
- ・対人援助コミュニケーション学特論
- ・対人援助コミュニケーション学演習

■ 基盤看護学領域

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・高齢者看護学特論
- ・高齢者看護学演習
- ・慢性看護学特論
- ・慢性看護学演習
- ・急性看護学特論
- ・急性看護学演習
- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学特論 I・II・III *
- ・がん看護学実習 *
- ・がんリハビリテーション看護 A・B *
- ・緩和ケア A・B *

* がん看護専門看護師コース必修

■ 生活・地域保健学領域

- ・母性保健学特論
- ・母性保健学演習
- ・小児保健学特論
- ・小児保健学演習
- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・在宅ケア看護学特論
- ・在宅ケア看護学演習
- ・環境保健学特論
- ・環境保健学演習

博士後期課程

生涯保健看護学領域

- 母子保健看護学
- 成人期保健看護学
- 高齢期保健看護学

地域保健看護学領域

- 地域保健看護学

授業科目

■ 共通科目 (必修)

- ・保健看護学研究法
- ・後期特別研究

■ 共通科目 (選択)

- ・健康管理論
- ・生活支援看護学

■ 生涯保健看護学領域

- ・母子保健看護学特論
- ・成人期保健看護学特論
- ・高齢期保健看護学特論

■ 地域保健看護学領域

- ・地域保健看護学特論

大学院生メッセージ



久保 乃英さん（博士前期課程2年生）

「かけがえのない学びと出会いが待っています!!」

私は所属する病院の教育専従師長の役割を担っていました。スタッフの育成支援に関する課題に取り組んでいた中、より高い支援能力を身につけたいと考え進学しました。

大学院での学びを通して、自分の考えを言語化する力、物事を捉える力、自分の看護観など、多くの面での変化と成長を実感しています。魅力的な先生方や大学院生との出会いが私の学びに大きな刺激となっています。

この学びを活かして、スタッフの育成支援に貢献していきたいと考えています。

杉谷 園さん（博士前期課程2年生）

「楽しく深く学び、さまざまな可能性を広げましょう!!」

私は、長年、がん罹患によって生じる様々な辛さに苦しむがん患者さんや家族に対し、十分なケアを提供できていない自分を自覚する度に、がん看護をもっと専門的に学びたいと思っていました。子育ても落ち着き、50歳を過ぎていましたが、一念発起し、がん看護専門看護師コースに入学いたしました。大学院では、がん看護における専門的な知識や技術をはじめ、看護学や統計学など様々な学問も深く学べ、大学院に入学したことで少しずつですが成長している自分を実感しています。先生方のご指導下、同じ志を持った仲間を支えられながら楽しく学びを深めることができ、この大学院への進学を決めて本当に良かったと思っています。



田辺 幸子さん（博士後期課程2年生）

「仲間とともに学びを深め、ともに研究を頑張りましょう」

私は、看護専門学校で教員として勤務しながら、本学大学院博士前期課程を修了し、2年間、研究生として在籍したのち博士後期課程に進学しました。後期課程では、修士課程で行った研究を深めています。

教員として学生に教育を行うには、自らが科学的根拠に基づいた深い知識を持つ必要があると考えます。授業では、修士課程で学んだことをさらに深めるために、多くの文献を検討し深く追求しています。仕事との両立は大変ですが、ここでの学びは自分を成長させてくれていると実感でき、学生の教育にも繋がっています。

また、他分野の看護の専門職者の方々と共に学ぶことは本当に楽しく、同じ志を持った仲間ができたことは、私の大きな財産となっています。仲間とともに学び、研究の成果を教育に還元し、学生への看護教育に貢献したいと思います。

特別研究修士論文発表会





女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアができる専門職を育成します。
また、人との出会いとふれあいを大切にしたい教育を目指します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

和歌山県立医科大学助産学専攻科では大学の教育理念に基づき次のような人を求めています。

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 助産学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力を備えた協調性の高い人
- 地域母子保健に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

カリキュラム・ポリシー（教育課程方針）

教育課程は「基礎領域」「実践領域」「関連領域」の3領域で構成しています。

- 基礎領域では、助産師の役割や助産業務の遂行に必要な生命倫理、子どもの健やかな成長発達支援のための理論や支援方法に基づいた教育
- 実践領域では、助産診断・技術学を中心に講義や演習によって妊産褥婦・新生児の健康状態を診断しケアを計画し実践できる教育、また助産師による地域母子支援及び関係機関との連携する力を獲得できる教育
- 関連領域では、助産学研究や助産学に対する課題解決力や医療職として生涯にわたって自己研鑽力を身につける教育、及び母子保健を国際的な視点でとらえ、幅広く活動できる人材を育成する教育

ディプロマ・ポリシー（修了証書授与方針）

和歌山県立医科大学助産学専攻科は所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した者に修了証書を授与します。

- 助産師として高い倫理観を基盤として、対象を理解し尊重することができる
- 妊娠・分娩・産褥経過および新生児期において診断できる能力を備え、正常からの逸脱を判断し異常を予測したケアを提供することができる
- 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して、支援するための基礎的能力として知識・技術・コミュニケーション力を有している
- 国際的視野を持ち、保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して地域社会に貢献することができる
- 知的好奇心を持ち生涯を通じて自己研鑽することができる

修業年限 1年

入学定員 10名

実習施設

【病院】

独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院
ひだか病院
紀南病院
和歌山県立医科大学附属病院

【助産院】

岡本助産院
ちひろ助産院
むとう助産院

授業科目一覧

授 業 科 目		単位数		修了要件
		必修	選択	
基礎領域	助産学概論	1		必修 34単位 選択 1単位 以上
	妊娠期の異常	1		
	分娩・産褥・新生児期の異常	1		
	生殖医療と生命倫理	1		
	親子関係発達論	1		
	母子の栄養学	1		
実践領域	助産診断・技術学Ⅰ（妊婦）	2		
	助産診断・技術学Ⅱ（産婦）	2		
	助産診断・技術学Ⅲ（母子）	2		
	助産診断・技術学Ⅳ（思春期・更年期・老年期）	1		
	子育て支援論	1		
	健康科学教育論	1		
	助産管理	2		
	成育医療	1		
	助産学実習	12		
	助産管理実習	1		
	産科救急・新生児蘇生法	1		
	産科救急・新生児蘇生法	1		
関連領域	助産学研究	1		
	周産期のメンタルヘルス	1		
	アクティブバースへのケア		1	
	助産師と国際活動		1	
合 計		34	2	35単位以上





主な年間スケジュール

- 4月 入学式、オリエンテーション
前期講義、演習
- 5月 講義、演習
- 6月 地域母子保健
- 7月 助産技術試験、前期試験
オープンキャンパス
- 8月 夏期休業（実習準備）
- 9月 助産学実習（9月～11月末）
 - ・分娩介助
 - ・継続事例への助産ケア及び1ヵ月健診
 - ・保健指導など
- 10月
- 11月
- 12月 助産管理実習
実習報告会
冬期休業
- 1月 助産学研究発表会（事例）
後期講義
後期試験
- 2月 国家試験受験
入職前演習（教科外プログラム）
- 3月 修了式



新生児蘇生法
Aコース：トレーニング1
(Tピース蘇生装置の使用)



Aコース：トレーニング2
(胸骨圧迫と人工呼吸のタイミング)



学内演習 アクティブバース
(母乳分泌促進のための肩マッサージ体験)



母親教室「お産の流れと過ごし方」学内で発表後

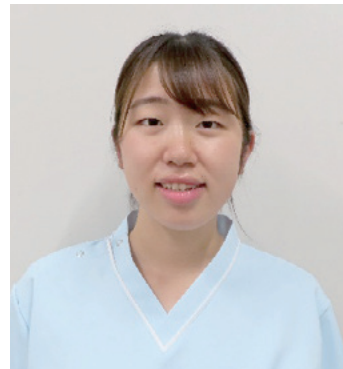
助産学専攻科修了生メッセージ

助産師 武政 亜美さん
(令和4年度修了生)

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 就職

助産学専攻科での1年は、とても忙しく大変でしたが、学びと楽しさが濃く詰まった日々でした。入学してすぐに講義や演習、保健指導のデモに向けた準備が始まります。毎日授業に加えて、空き時間で技術演習やグループワークを行うため、仲間と過ごす時間がほとんどです。9月からは3か月間の臨地実習があります。実習では、助産師の責任の重さや難しさを実感し、たくさん悩み、失敗や反省を繰り返しました。それでも、困ったときには指導者さんや先生から助言をいただき、仲間と支え合い乗り越えていきました。助産学生は、看護学生のときよりも深く対象者さんと関わることが出来ます。長い陣痛を乗り越えた産婦さんに「ありがとう、そばにいてくれてよかった」と言っていたけした時は、とても嬉しく、頑張る活力になり、助産師のやりがいや魅力にも改めて気づくことができました。

助産学専攻科では、多くの学びがあり、同じ目標に向かう仲間とともに頑張ることができます。本学への皆さんの入学を応援しています。



助産師 露峰 真里江さん
(平成29年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務6年目



助産学専攻科での1年間を振り返ると、想像以上に大変な1年間でしたが、私の助産師としての基礎を築いてくれた大切な1年間です。私の学年は9人の学生と4人の先生とで毎日授業と演習を行いました。授業はグループに分かれて自己学習をし、パワーポイントを用いて発表するなどみんなで学んだことを共有するという機会が多かったです。相手に伝わりやすくまとめ、発表する能力は助産師として保健指導をするうえでとても大切な能力です。知識を学ぶだけでなく助産師として必要な能力も身につけられた授業でした。演習は学生同士でアドバイスをしながら進め、学ぶべきところは吸収してお互いに高めあいながら技術を磨きました。コミュニケーションをとり、互いに協力しあう大切さを学ぶことができました。実習では産婦さんへの関わり方で悩み、自身の未熟さを感じました。指導者や教員からの助言から自分にできることを一生懸命取り組むようにしました。

働きはじめて6年目となり、これまで関わった妊婦さんの出産に立ち会い、笑顔で退院していく姿を見送るときに改めて助産師の仕事にやりがいを感じます。

助産学専攻科でみなさんが夢に向かって充実した学生生活を送れることを願っています。

助産学専攻科修了後の主な就職先

- 和歌山県立医科大学附属病院
- 紀南病院
- 和歌山ろうさい病院
- 大阪大学医学部附属病院
- 大阪公立大学医学部附属病院
- 大阪市立総合医療センター
- 堺市立総合医療センター
- 社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院
- 宇治徳洲会病院
- 京都大学医学部附属病院
- 加古川中央市民病院
- 滋賀医科大学医学部附属病院
- 名古屋市立大学病院



入学金等

	保健看護学部		大学院保健看護学研究科		助産学専攻科	
入学検定料	17,000円		30,000円		18,000円	
入学金	県内生	282,000円	博士前期課程	282,000円	県内生 (学内生含む)	169,200円
	県外生	423,000円	博士後期課程	282,000円	県外生	253,800円
授業料 (5月と11月に分納)	535,800円		535,800円		535,800円	

授業料等減免制度

経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者を対象に、授業料等の全額もしくは一部が免除される場合があります。

- *希望する場合は、保健看護学部事務室に相談してください。
- *本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学）です。

奨学金

- 日本学生支援機構
- 和歌山県立医科大学修学奨学金
- その他

表彰制度

- 他の学生の模範となる学生を卒業時に表彰します。
- 知事賞／成績優秀者を表彰
 - 学長賞／成績優良で他の模範となる学生を表彰

大学図書館

本学には、紀三井寺キャンパスに紀三井寺館、三葛キャンパスに三葛館、伏虎キャンパスには伏虎館という三つの大学図書館があり、学生は全ての図書館を利用できます。

保健看護学部がある三葛キャンパスに位置する三葛館は、約64,000冊の図書やCD・DVDなどの視聴覚資料、約1,000種類の学術雑誌を所蔵しているほか、学習や研究に必要な文献などを探すためのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなどの電子リソースも利用でき、新しい知識を得るための環境が整っています。

図書館三葛館ウェブサイト：

<https://opac.wakayama-med.ac.jp/drupal/mikazura>

きめ細かな学生サポート体制

オフィスアワー

学生のための時間を全教員が週に一度設け、学習指導や学生生活での相談などを受け、学生がきめ細やかな助言・指導を受けられる環境を提供しています。

カウンセリング

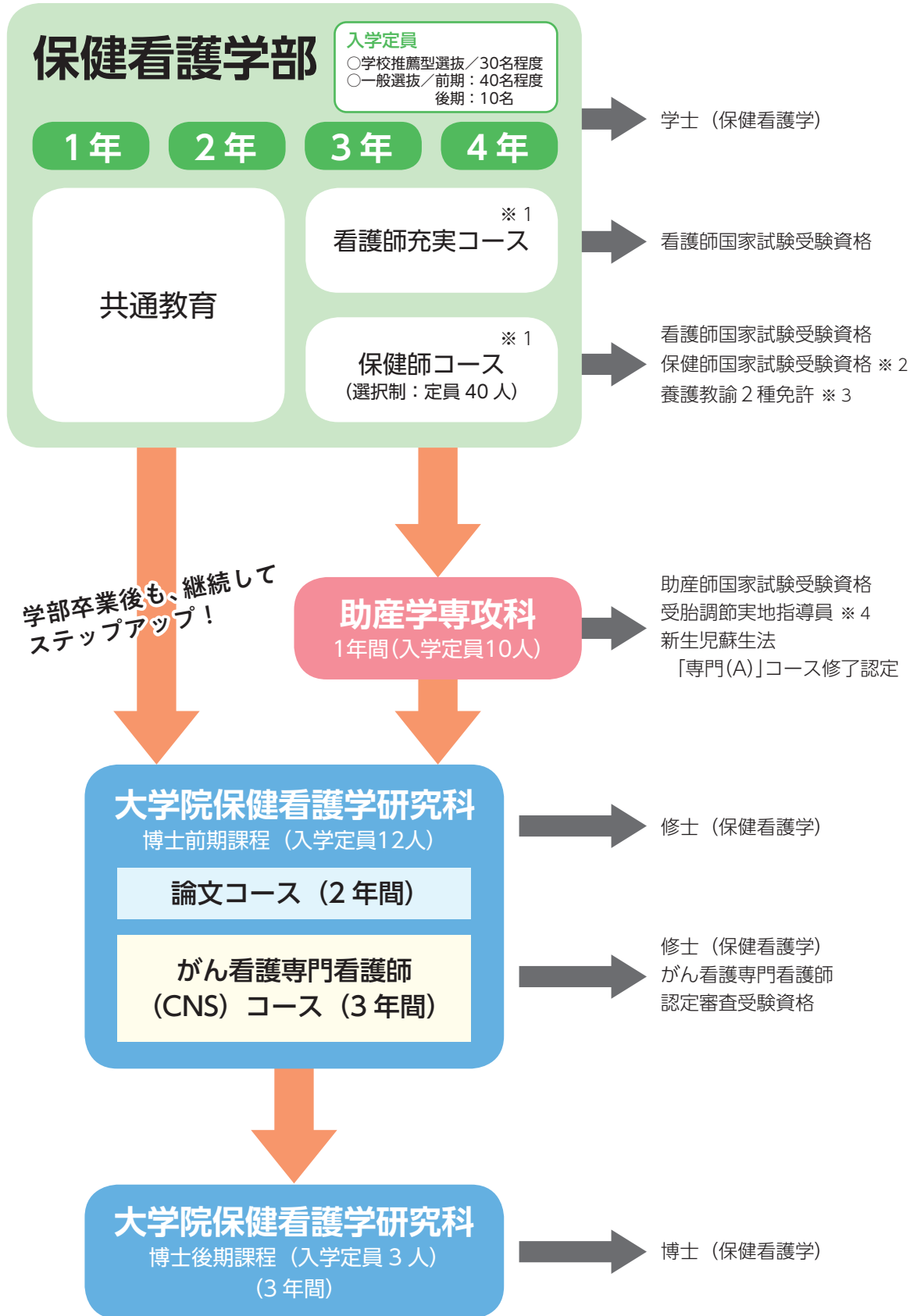
週に一度、外部のカウンセラーによるカウンセリングを開設しています。学習面や進路のことなど気軽に相談できます。

担任制

保健看護学部は、4年間の学生生活を担任教員がサポートします。自分のことをよく知ってくれている教員がいるので安心です。



学位・資格取得によるキャリアアップを支援します



- ※1 看護師充実コースと保健師コースは一部履修科目が異なります。
- ※2 保健師コース修了者のみ受験資格があります。また、保健師免許は看護師免許がないと取得できません。
- ※3 保健師免許を取得後、都道府県教育委員会への申請を要します。
- ※4 都道府県知事への申請を要します。



山や海に囲まれた自然豊かな和歌山で保健看護学を通して自分の可能性を広げよう



看護実習室



図書館

- ① 管理・校舎棟
- ② 図書館棟
- ③ 体育館棟
- ④ 研究棟
- ⑤ 医学部三葛教育棟



大学生協



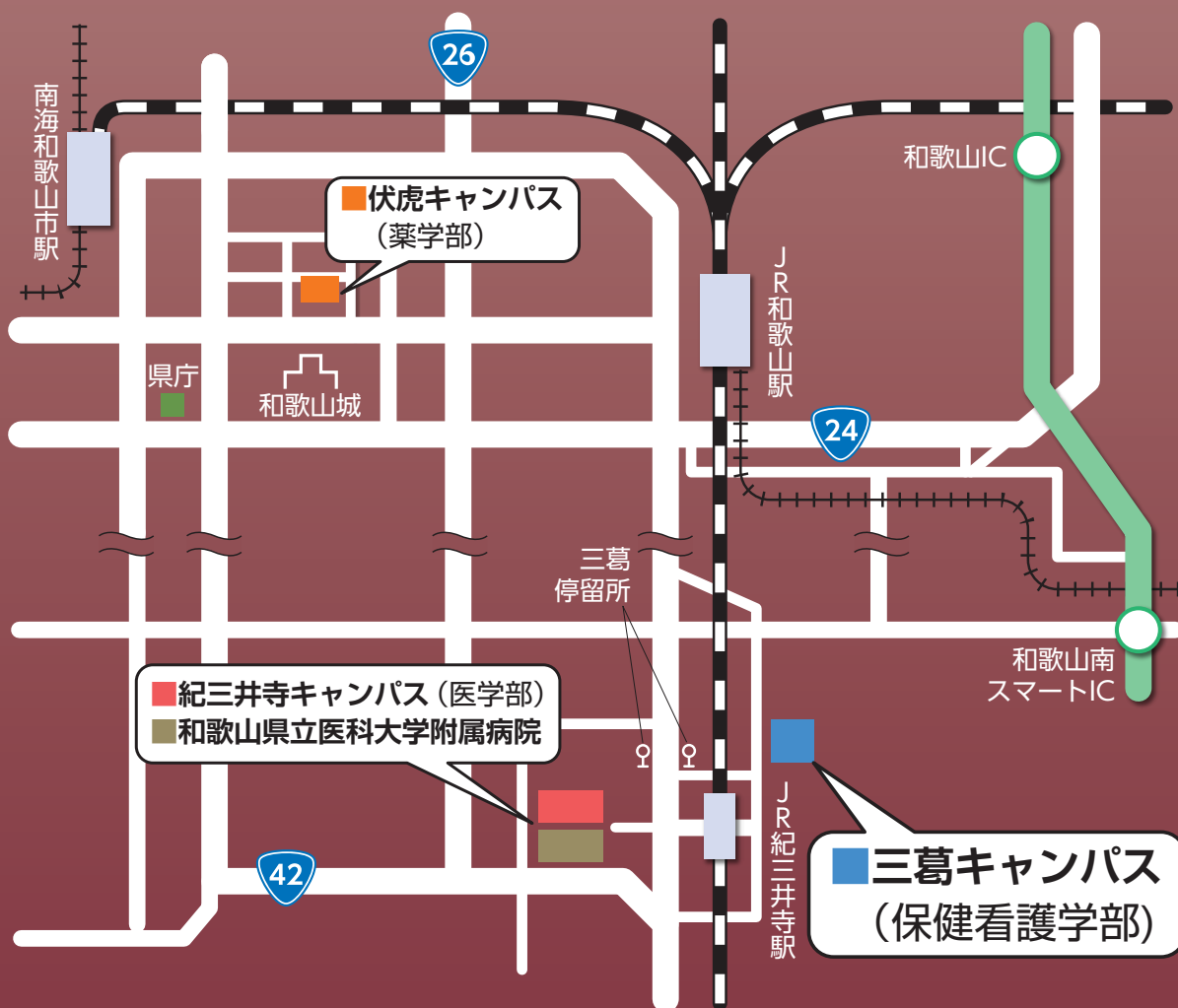
体育館



学生ホール・食堂



大講義室



- 天王寺～和歌山駅 JR阪和線（快速）約1時間
- JR紀三井寺駅下車 東口より 徒歩約10分
- JR和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約10分
- 阪和自動車道 和歌山南SICより 車約10分



公立大学法人
 和歌山県立医科大学保健看護学部
 大学院保健看護学研究科
 助産学専攻科

〒641-0011 和歌山市三葛 580 番地 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720
<http://www.wakayama-med.ac.jp/dept/hokenkango/index.html>